スーパーバイザの show module コマンドに表示 されない MSFC の回復方法

内容

概要

前提条件

要件

使用するコンポーネント

<u>表記法</u>

回復手順

MSFC が ROMMON 状態にある場合

MSFC にブート コマンドがない、または不正確な場合

MSFC の IOS ソフトウェア イメージが破損している、または存在しない場合

MSFC に誤ったコンフィギュレーション レジスタが設定されている場合

MSFC がブート モードのままである場合

シャーシ内のデュアル スーパーバイザ エンジンのスタンバイ側のスーパーバイザ エンジン

MSFC を回復する

関連情報

<u>概要</u>

このドキュメントでは、Catalyst 6500/6000 Supervisor Engine の show module コマンド出力にマルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード(MSFC)が表示されない状態または other 状態になった場合の復旧方法について説明します。多くの場合、MSFC の設定が変更されてからスーパーバイザがリロードされた時に発生します。MSFC が other 状態になる現象は、多くの場合 MSFC の設定が変更されてからスーパーバイザがリロードされなかったことが原因となっています

前提条件

要件

シスコでは、このセクション内の情報についての知識があることを推奨します。

次に、MSFC が表示されない場合の show module コマンドの出力の例を示します。

Cat6500 (enable) show module

Mod Slot Ports Module-Type Model Sub Status

1 1 2 1000BaseX Supervisor WS-X6K-SUP1A-2GE yes ok

Mod Module-Name

Serial-Num

1 SAD040200B3

Cat6500 (enable) session 15

Module 15 is not installed.

次に、MSFC が other show module コマンドの出力例を示します。

Cat6500 (enable) show module

Mod	Slot	Ports	Module-Type	Model	Sub	Status
1	1	2	1000BaseX Supervisor	WS-X6K-SUP1A-2GE	yes	ok
15	1	1	Multilayer Switch Feature	WS-F6K-MSFC	no	other

Cat6500 (enable) session 15

Trying Router-15...

!--- The session is not created. Press Ctrl-C to escape.

注:この例では、スーパーバイザエンジンとMSFCはスロット1にあります。したがって、 MSFCに接続するにはsession 15コマンドを発行する必要があります。MSFC がスロット 2 にある場合、MSFC に接続するには session 16 コマンドを発行します。

このリストは、show module コマンドの出力に MSFC が表示されない、または other 詳細および 回復手順に関しては、このドキュメントの対応するセクションを確認してください。

- MSFC が ROM モニタ(ROMMON)状態にある場合。
- MSFC にブート コマ<u>ンドがない、または不正確な場合。</u>
- MSFC の IOS® ソフトウェア イメージが破損している、または存在しない場合。
- MSFC に誤ったコンフィギュレーション レジスタが設定されている場合。
- MSFC がブート モードのままである場合。

<u>使用するコンポーネント</u>

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『<u>シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。</u>

回復手順

MSFC が ROMMON 状態にある場合

このセクションの出力は、MSFC が ROMMON 状態にある場合の show module コマンドからのものです。

注:次**のセッシ**ョンコマンドのいずれかを発行してください。

- 回復したい MSFC がスーパーバイザ エンジン モジュール スロット 1 に物理的に存在する場合、session 15 コマンドを発行します。
- MSFC がスロット 2 にある場合、session 16 コマンドを発行します。

注:スタンバイ側のスーパーバイザエンジンのMSFCにアクセスできない場合は、先に進む前に、このドキュメントの「デュアルスーパーバイザエンジンでスタンバイ側のスーパーバイザエンジンのMSFCを回復する方法」セクションを参照してください。

```
Cat6500 (enable) session 15

Trying Router-15...

Cat6500> (enable) show module 15

Module 15 is not installed.
```

この手順では、ROMMON 状態にある場合の MSFC の回復方法について説明します。

- 1. コンソール ポート接続でスーパーバイザ エンジンに接続します。**注:Telnet**経由で接続し ないでください。
- 2. ステップ 2: プロンプトに switch console コマンドを入力します。

Cat6500 (enable) switch console

```
Trying Router-15...

Connected to Router-15.

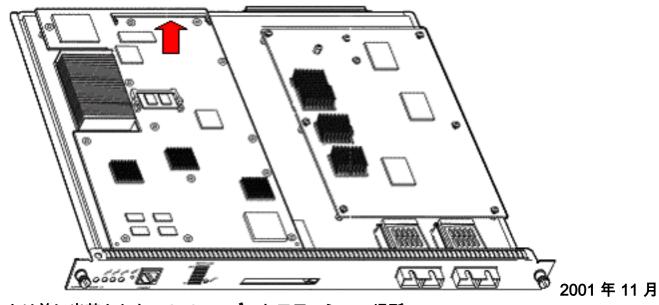
Type ^C^C^C to switch back...

!--- Press Enter here.

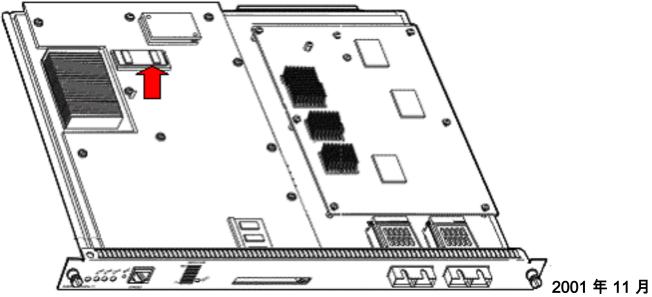
rommon 1 >
```

ROMMON 状態の MSFC にアクセスすることができる場合、ステップ 13に進んでください

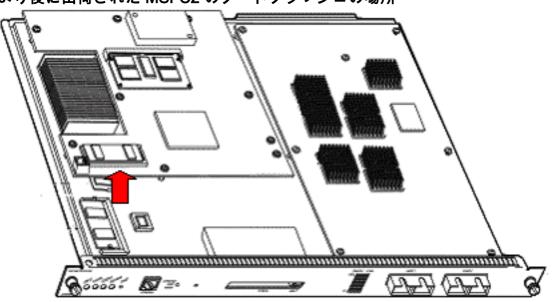
3. ステップ 2 に示されているように、ROMMON にアクセスできない場合、これらの手順を完了してください。スーパーバイザ エンジン スイッチをリセットします。スイッチをリセットした後、スーパーバイザ エンジンのコマンド プロンプトにアクセスできるようになったらすぐに switch console コマンドを発行してください。起動途中の MSFC にアクセスできます。すぐに Ctrl を押した状態で Break を押し、MSFC の ROMMON にアクセスしてください。MSFC の [rommon] > [prompt] 13 注:入力するブレークシーケンスは、使用するターミナルエミュレーションソフトウェアとオペレーティングシステムによって異なります。たとえば、Microsoft Windows 2000 の HyperTerminal ではブレーク シーケンスとして Ctrl+Break を使用します。詳細については、パスワードの回復時に使用する標準的なブレーク キーシーケンスの組み合わせを参照してください。MSFC の ROMMON ヘアクセスできなければ、スイッチの電源を落とし、MSFC のブートフラッシュを物理的に取り外します。これらの図は、赤い矢印で物理的なブートフラッシュの場所を示しています。MSFC のブートフラッシュの場所



より前に出荷された MSFC2 のブートフラッシュの場所



より後に出荷された MSFC2 のブートフラッシュの場所



4. スイッチで電源を再投入し、MSFC ROMMON にアクセスするために switch console コマンドを発行します。注:出力が画面にスクロールする場合、またはrommon >は、MSFCにブレークシーケンスを送信してください。詳細は、パスワード回復中の標準的なブレーク キーシーケンスの組み合せを参照してください。

5. プロンプトに set コマンドを入力して、ROMMON ブート変数の現在の値を表示します。

rommon 2 > set

PS1=rommon ! >
BOOTLDR=bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E
BOOT=bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-6.E,1;?=1

6. BOOT= コマンドおよび BOOTLDR= コマンドを使用して、BOOT および BOOTLDR 変数を リセットします。注:これらのコマンドでは大文字と小文字が区別されます。

rommon 2 > **BOOT=**

rommon 3 > **BOOTLDR=**

7. コンフィギュレーション レジスタを 0x0 に設定するには、**confreg 0x0 コマンドを発行しま す。注:このコマンド**は大文字と小文字が区別されます。

rommon 4 > confreg 0x0

8. プロンプトで、sync コマンドを発行してブートとコンフィギュレーション レジスタの設定 を同期してから、reset コマンドを発行します。

rommon 5 > **sync**

rommon 6 > reset

System Bootstrap, Version 12.0(3)XE, RELEASE SOFTWARE Copyright (c) 1998 by cisco Systems, Inc. Cat6k-MSFC platform with 131072 Kbytes of main memory

9. MSFC のリセット後、set コマンドを発行して設定が保存されたことを確認します。

rommon 1 > set

PS1=rommon ! >
BOOT=
BOOTLDR=
CONFREG=0x0

10. ステップ 11: スイッチ電源を落として、MSFC ブートフラッシュをもう一度挿入します。

- 11. スイッチの電源を再投入し、MSFC にアクセスするために switch console コマンドを発行します。
- 12. **dir bootflash: コマンドを発行します**このコマンドは、MSFC ブートフラッシュのコンテンツを表示します。

rommon 1 > dir bootflash:

File size Checksum File name 1730952 bytes (0x1a6988) 0x880dbda7 c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin 12212028 bytes (0xba573c) 0xbe32bc20 c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2

13. **boot bootflash: コマンドを発行します。**MSFC を起動するためのコマンドです。適切なシステム イメージ(jsv、dsv、isv)を指定します。これらは **dir bootflash:**コマンド出力で表示されるものです。**注:ファイ**ル名に「boot」を含むイメージを指定しないでください。

rommon 1 > boot bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2

```
4096K bytes of packet SRAM memory.
16384K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 256K).
```

14. Return を押して開始します。

このプロシージャで MSFC を回復できない場合、Cisco Technical Support に連絡してください。

MSFC にブート コマンドがない、または不正確な場合

設定が保存されていない場合や、ブート コマンドが正しく設定されていない場合、MSFC は正常に起動しません。このセクションは、ブート コマンドがない、またはブート コマンドが正しくない MSFC からのコマンド出力の例と、この問題を解決するための手順の詳細を示します。

```
MSFC#dir bootflash:
```

```
Directory of bootflash:/

1 -rw- 1730952 Mar 27 2001 13:11:10 c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin

2 -rw- 12212028 Jul 16 2001 10:52:05 c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2
15990784 bytes total (2047548 bytes free)

MSFC#show run

Building configuration...
Current configuration : 274 bytes
!
version 12.1
service timestamps debug uptime
service timestamps log uptime
no service password-encryption
!
hostname MSFC
!
boot system flash bootflash:c6msfc-wrong-image.bin
```

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1. ステップ 1: 正しく設定されていない boot コマンドを削除します。
 MSFC(config)#no boot system flash bootflash:c6msfc-wrong-image.bin
- 2. ステップ 2: 正しい boot コマンドを設定します。

```
MSFC(config) #boot system flash bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2
```

```
MSFC(config)#^Z

MSFC#
00:04:23: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console

MSFC#show run

Building configuration...
Current configuration : 275 bytes
!
version 12.1
service timestamps debug uptime
service timestamps log uptime
no service password-encryption
!
hostname MSFC
!
boot system flash bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2
```

注: MSFC をリロードする前に必ず設定を保存してください。write memory コマンドまたは copy running-config startup-config コマンドを発行します。

bootldr boot 次に bootldr

```
MSFC#dir
Directory of bootflash:/
1 -rw- 1730952 Mar 27 2001 13:11:10 c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin
2 -rw- 12212028 Jul 16 2001 10:52:05 c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2
15990784 bytes total (316064 bytes free)
MSFC#show run
Building configuration...
Current configuration: 326 bytes
version 12.1
service timestamps debug uptime
service timestamps log uptime
no service password-encryption
!
hostname MSFC
!
boot system flash bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2
boot bootldr bootflash:c6msfc-wrong-boot-image.bin
MSFC#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
MSFC(config) #no boot bootldr bootflash:c6msfc-wrong-boot-image.bin
MSFC (config) #boot bootldr bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin
MSFC(config) #^Z
MSFC#show run
00:13:05: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by consolen
Building configuration...
Current configuration: 326 bytes
version 12.1
service timestamps debug uptime
service timestamps log uptime
no service password-encryption
1
hostname MSFC
boot system flash bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2
boot bootldr bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin
```

MSFC の IOS ソフトウェア イメージが破損している、または存在しない場合

boot 変数が正しいにもかかわらず MSFC がロードしない場合、Cisco IOS ソフトウェア イメージが破損しているか存在しない可能性があります。

リロード後に MSFC が起動するのを確認するには switch console コマンドを発行します。これは 、ブート問題の診断に役立ちます。そのためには物理的なコンソール接続が必要です。MSFC の セッションがリロード時に失われるのは、session {15 | 16}コマンドを発行します。

verify コマンドを使用して、IOS イメージの完全性をチェックします。

MSFC#dir

Directory of bootflash:/ 1 -rw- 1730952 Mar 27 2001 13:11:10 c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin 2 -rw- 12212028 Jul 16 2001 10:52:05 c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2 15990784 bytes total (316064 bytes free)

MSFC#verify c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2

ccccccccccccccccccccccccccccccccccccc

Verified c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2

また dir コマンドまたは show bootflash:コマンドで出力されるファイル サイズを比較することも できます。正しいファイルサイズは、ソフトウェアダウンロードセン<u>ター(登録ユーザ</u>専用)で参 照できます。

MSFC のブート変数、イメージの完全性、<u>コンフィギュレーション レジスタ</u>に問題がないにもか かわらず正常に起動しない場合、フラッシュ デバイスに問題がある可能性があります。Flash デ バイスを交換する前に、format bootflash: コマンドを発行して、デバイスをフォーマットします 。TFTP で新しいイメージをダウンロードしてフォーマットを完了します。

注:TFTPを使用して、ソフトウェアイメージファイルをPCからデバイスに転送できます。この ドキュメントでは、Cisco TFTP サーバ アプリケーションからの出力を使用しています。シスコ ではこのアプリケーションをすでに打ち切っており、現在はサポートしておりません。TFTP サ ーバがない場合は、サードパーティの TFTP サーバ アプリケーションを他の供給元から入手して ください。

注意:フラッシュデバイスをフォーマットする場合は注意してください。新しいイメージをダウ ンロードする前に MSFC をリロードした場合、Xmodem を使用して MSFC を回復する必要があ ります。Flash デバイスをフォーマットし、イメージを置き換えても機能しない場合は、Flash デ バイスの交換を検討してください。

MSFC に誤ったコンフィギュレーション レジスタが設定されている場合

コンフィギュレーション レジスタは、他の変数と同様に MSFC の起動条件を設定する値です。 show boot コマンドまたは show version コマンドを発行してこの値を検証します。

MSFC#show boot

BOOT variable = bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2,1 CONFIG_FILE variable = BOOTLDR variable = bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin Configuration register is **0x102**

MSFC#show version

```
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) MSFC Software (C6MSFC-JSV-M),
  Version 12.1(8a)E2, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE (fc1)
TAC Support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 1986-2001 by cisco Systems, Inc.
Compiled Fri 03-Aug-01 14:23 by hgluong
Image text-base: 0x60008950, data-base: 0x61928000
ROM: System Bootstrap, Version 12.0(3)XE, RELEASE SOFTWARE
BOOTFLASH: MSFC Software (C6MSFC-BOOT-M),
  Version 12.1(6)E1, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE (fc1)
MSFC uptime is 3 minutes
System returned to ROM by reload at 19:20:19 UTC Sun Sep 3 2000
Running default software
cisco Cat6k-MSFC (R5000) processor with 57344K/8192K bytes of memory.
Processor board ID SAD04010CCY
R5000 CPU at 200Mhz, Implementation 35, Rev 2.1, 512KB L2 Cache
Last reset from power-on
Bridging software.
X.25 software, Version 3.0.0.
SuperLAT software (copyright 1990 by Meridian Technology Corp).
TN3270 Emulation software.
123K bytes of non-volatile configuration memory.
4096K bytes of packet SRAM memory.
16384K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 256K).
Configuration register is 0x102
```

コンフィギュレーション レジスタ変数を変更した後、MSFC(または Cisco ルータ)設定をメモリに書き込む必要は*ありません。*正しいコンフィギュレーション レジスタ設定は 0x102 と 0x2102 がとなります。

このコマンド出力例は、コンフィギュレーション レジスタを修正する方法を示しています。

MSFC#show boot

```
BOOT variable = bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2,1

CONFIG_FILE variable =

BOOTLDR variable = bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin

Configuration register is 0x0
```

MSFC#configure terminal

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

MSFC(config)#config-register 0x102

MSFC#show boot

```
BOOT variable = bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2,1

CONFIG_FILE variable =

BOOTLDR variable = bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin

Configuration register is 0x0 (will be 0x102 at next reload)
```

config-register コマンドの詳細はブート コマンドを参照してください。

MSFC がブート モードのままである場合

MSFC は次のいずれかの理由でブート モードのままになる場合があります。

- フラッシュ上のイメージの実際のファイル名と boot コマンドで使用されるファイル名が不一致
- •ブート コマンドが正しくない
- コンフィギュレーション レジスタ値が正しくない
- Cisco IOS ソフトウェア イメージが破損しているまたは存在しない

回避策

- フラッシュ上のイメージの実際のファイル名と boot コマンドで使用されるファイル名が一致していない場合、一致させてから MSFC を再起動します。
- ブート コマンドが正しくない場合、MSFC にブート コマンドがない、または不正確な場合セクションの手順を実行します。
- コンフィギュレーション レジスタが正しくない場合は、<u>MSFC に誤ったコンフィギュレーシ</u>ョン レジスタが設定されている場合セクションの手順を実行します。
- Cisco IOS ソフトウェア イメージが破損している、または存在しない場合、<u>MSFC の IOS ソ</u>フトウェア イメージが破損している、または存在しない場合の手順を実行します。

<u>シャーシ内のデュアル スーパーバイザ エンジンのスタンバイ側</u> のスーパーバイザ エンジン MSFC を回復する

このドキュメントでここまで説明した回復プロシージャは、シングルまたはデュアル スーパーバイザ エンジンが搭載されたシャーシ内のアクティブなスーパーバイザ エンジンに属する MSFC の回復に適用されるものです。デュアル スーパーバイザ エンジンのスイッチでは、スタンバイ側のスーパーバイザ エンジンのコンソールはロックされ、アクティブなスーパーバイザ エンジンのコンソールのみ使用できます。MSFC には物理的な外部コンソール ポートがないため、アクティブなスーパーバイザ エンジン MSFC のコンソールにアクセスするには switch console コマンドを発行する必要があります。

注:このセクションの例では、アクティブ側のスーパーバイザエンジン/MSFCはスロット1にあり、スタンバイ側のスーパーバイザエンジン/MSFCはスロット2にあります。スタンバイ側のスーパーバイザエンジン/MSFCがスロット1にあり、アクティブ側のスーパーバイザエンジン/MSFCがスロット2にある場合は、「15」に置します。

モジュール 16 として表示されるスタンバイ側のスーパーバイザ エンジン内の MSFC を回復する には 2 つのオプションがあります。

- 1. 現在のアクティブなスーパーバイザ エンジンから switch supervisor コマンドを発行し、MSFC を回復するスーパーバイザ エンジンをアクティブにします。このコマンドで 2 番目のスーパーバイザ エンジンにフェールオーバーします。以前のスタンバイ側のスーパーバイザ エンジンがアクティブなスーパーバイザ エンジンになり、コンソールにアクセスできるようになるため、回復手順を実行できます。 This method is straightforward, but it does have a disadvantage.この手順により、MSFC が回復するまでネットワーク運用が中断する場合があります。そのためこの方法は、スケジュールされたメンテナンス時間帯、またはネットワーク運用があまり必要ない状況で使用してください。予備のシャーシを使用できる場合、現在のシャーシからスタンバイ側のスーパーバイザ エンジンを外し、予備のシャーシに設置して回復することができます。この場合、実稼働中のスイッチの現在の運用に悪影響はありません。
- 2. これは、スタンバイ側のスーパーバイザ エンジンで MSFC を回復する際にネットワーク ダ

ウンタイムが発生しない、影響の少ない方法です。スタンバイ側のスーパーバイザ エンジン MSFC のコンソールにアクセスするには、アクティブなスタンバイ スーパーバイザ エンジンから switch console 16 コマンドを発行します。このコマンドは、回復する必要がある MSFC 用のスタンバイ側のスーパーバイザ エンジン コンソールをアクティブにします。端末をスタンバイ側のスーパーバイザ エンジンのコンソールに接続します。次に、回復手順を使用してアクティブなスーパーバイザ エンジン MSFC を回復します。

MSFC の回復が完了したら、Ctrl **を押した状態で C を 3 回押して、アクティブなスーパーバイザ エンジン上のコンソール ポートを再アクティブ化します。**スタンバイ側のスーパーバイザ エンジンのコンソールは以前と同様に再度ロックされます。

関連情報

- ・最初の MSFC ブート
- パスワード復旧中の標準的なブレーク キー シーケンスの組み合わせ
- LAN 製品に関するサポート ページ
- LAN スイッチングに関するサポート ページ
- テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems